

11 がつひかりごう

令和 3 年 11 月 1 日 輝 保 育 園

「水辺公園にどんぐりが落ちてたよ！」と、子ども達が秋の訪れを知らせてくれます。どの子も季節の移り変わりを感じているようです。運動会は無観客での開催でしたが、競技は笑顔で、遊戯や鼓隊も真剣な表情で頑張りました。体育教室も 1 カ月休みになりましたが、担任と子ども達で毎日練習に励みました。その成果が表れた 1 日です。お互いにそろえようという意気込みを感じた素晴らしい運動会でした。子ども達が一回り大きく感じます。



【千歳飴】

「千歳」は「千年」や「長い期間」、「長い年月」という意味があります。

鶴や亀、松竹梅などの縁起の良い図柄が書かれた袋に、紅白のそれぞれの色に染められた細く長い飴が入っています。

「千歳飴のように細く長く生きてほしい」という願いがこめられており、子どもの長寿を願って食べます。

★ 勤労感謝の日 ★

「勤労感謝の日」の意味とは、報酬を獲得する労働だけでなく、金銭を伴わない精神的なサービスなども含めた全ての労働について感謝するという事です。



= 11 月の行事予定 =

- 4 日 (木) 避難訓練
- 5 日 (金) 遠足 (3、4、5 才)
- 16 日 (火) } 尿、ぎょう虫卵検査
- 17 日 (水) }
- 26 日 (金) 身体測定・誕生会

=== ナース・レポート ===

【コロナ禍 今季のインフルエンザは、大きな流行を起こす可能性も】

前シーズン、インフルエンザの流行が見られなかった。

ウイルス干渉という考え方もあるが、今年、小児で RS ウイルスの感染が広がった。

昨年は少なく、これは RS ウイルスについてもやっぱり集団免疫ができていないからと考える。

だから、去年インフルエンザが流行しなかったからといって、今年もインフルエンザが流行しないとは言いきれない。

インフルエンザと新型コロナの第 6 波との同時流行もありえる。

インドとバングラデシュで今年の夏にインフルエンザが流行したことにより、世界中にウイルスが拡散される懸念がある。

昨年からほとんど国内において流行しておらず、集団免疫ができていない可能性があり、インフルエンザが流行する可能性はある。

2021～2022 年シーズンもインフルエンザワクチンの積極的な接種を推奨している。

10/19 FNN プライムオンラインより抜粋

ワクチンには発症後の肺炎や脳炎などの「重い合併症を予防する」効果があります。

引き続き、手洗い、マスク、ソーシャルディスタンスを意識しながら、かかりつけ医と相談し、早めのワクチン接種を心掛けましょう。

《《《 お願い 》》》

1. クリアケースの中と、お便り帳を毎日確認してください。
2. お金などの貴重品は、必ず職員に手渡しをお願いします。
3. 持ち物や衣類には名前の記入をお願いします。名前が薄くなっていないか、もう一度確認をして下さい。
4. 夜更かしをさせず、早寝・早起をし、しっかり朝食を摂りましょう。
5. 毎日入浴させ、清潔にしましょう。

☆☆ 家庭生活（生活習慣）☆☆

生活習慣は育ちの基礎 - 3

◎ 生活習慣づくりは幼児期から

- ① 子どもの望ましい就寝時刻 (9 時頃) を理解し、決めておく。
- ② 就寝の 1 時間前にはテレビを見ないようにする。
- ③ 就寝の準備 (着替え、歯磨き等) を行う。 ※ 絵本などの読み聞かせも大切
- ④ 部屋を暗くする。
- ⑤ 起きる時間の少し前にカーテンをあけ、朝日を入れる。 → 声をかける
- ⑥ ゆとりをもって朝ごはんを食べさせる。(食事時のテレビは OFF)
- ⑦ 排便をさせる。
- ⑧ 日中はしっかり活動させる、遊ばせる。
- ⑨ 昼寝は早めに切り上げる。
- ⑩ 夕食は早めにする。
- ⑪ 早寝早起きができればしっかりほめる。

習慣が身に付くまで同じ手順をくり返しましょう！



「教育力向上福岡県民運動ホームページ」より抜粋

こどもよゆうす

たんぽぽぐみ
0 才児



子どもたちは、おままごと遊びが好きで、とても集中して遊んでいます。茶碗から茶碗にチェーンを手で掴み移し替えたり、スプーンでチェーンをすくって口に運んだり、食べる真似をしている子も多くいます。手や指を使った細かく精密な動作を必要とする動作を微細運動と言います。おままごと遊びでは、混ぜる、すくう、人差し指と親指の先で物をつまむなどの食事の際スプーンを使用するときに大切な、スプーン使いに通じる微細運動が促され手首の運動機能も発達します。この微細運動をたくさん経験することで、食事の際の食具使用の上達に繋がります。また、成功体験を重ねることで子どもたち自身も、喜び、自信へととなり、より食事の時間が楽しい時間となっていきます。ご家庭でも、お風呂の中のお水をすくったり、公園での砂遊びなど機会を作ってください。

たんぽぽぐみ
1 才児



1 才児クラスでは、どの子もしっかりと自己主張するようになってきました。それに伴い、「イヤ」、「ダメ」などの声が部屋のあちこちから聞こえてくるようになりました。その子の、「これはしたくない」、「今はイヤだ」という気持ちは受け止めつつ、物事の善悪、出来ること、出来ないことは繰り返し伝えるようにしています。良いこと、悪いことの判断基準が違うと、子どもが混乱してしまいます。家庭内で話し合ったり、家庭と園で話し合ったりしながら、統一した対応が出来るようにしていきましょう。園では、自分や他の人が怪我をするなど危ないこと、嫌な気持ちになることはしないように繰り返し伝えていきます。大変な時期ではありますが、とても大切な時期でもあります。丁寧に対応しながら、一緒に頑張っていきたいと思います。

すみれぐみ
2 才児



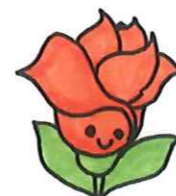
秋の訪れをやっと感じるようになりました。子どもたちも、「涼しいね」と気温の変化を感じているようです。最近では、友だちとの言葉のやり取りや、一緒に遊ぶことの楽しさを感じている子どもたちです。ブロックや積み木などで遊んでいても、以前は同じ場所で、それぞれが好きな物を作り楽しんでいましたが、最近では、一緒に一つの作品を作って楽しむようになり、遊びにも変化が見られるようになりました。また、遊んでいる時の会話でも、「あとで貸してね」や「順番ね」など、自然と言葉にするようになり、おもちゃの貸し借りや、順番を待つことなど、社会性が少しずつですが身についてきているように感じます。しかし、まだまだ喧嘩になることも多くあります。保育士が仲立ちとなりながら、ぶつかり合う経験を通し、一緒に遊ぶ楽しさを感じて欲しいと思います。

ちゅうりっぷぐみ
3 才児



運動会に関する活動では、「みんなと一緒に楽しくね」をモットーに、そして「頑張ろう！」と心が強く強く豊かに育っていく事を目指して取り組みました。決まり事が守れず幼さが残る部分もありましたが、気持ちのメリハリをつけていくことで、次第に約束事を意識できるようになりました。他クラスの鼓隊や旗の遊戯を見ては「カッコいいね」と憧れの気持ちを抱き「僕達もバルーンをしたい！」と意欲に繋がりました。出番がくると張り切って参加し、技が成功すると、飛び跳ねる程の喜びも共有する事が出来ました。今回の経験で得た「みんなで活動すると面白い」という思いは、年中長時期で芽生える「協力する力」を支える土台となります。今後は、この土台がしっかりしたものとなるよう、ルールや共通のイメージのある遊びを中心に活動を進めていきます。

ばらぐみ
4 才児



先月はミニ運動会があり、仲間とやり遂げる経験が出来ました。涼しくなり戸外に出られるようになりました。鬼ごっこやドッジボールなど、体を動かす楽しさを存分に感じながら過ごしています。特に鬼ごっこでは、子ども達の成長した姿が見られます。「鬼ごっこしよう」という一人の子の声から 6 人、7 人集まり、始まります。鬼が決まらず「もうしない」と遊びが終わる事もありましたが、最近では「じゃんけんしよう」、「僕鬼したい」など、主張を伝えながらも解決策を見出している姿もあります。また、「鬼したい?」、「逃げる?」と友達の意見を聞きながら、遊びを一緒に楽しむ方法を考える力も育まれています。もちろん、解決しない時や言い合いになる事もあります。遊びを通して、友達との関わりを深めながら、協調性を身につけてほしいと願っています。

ひまわりぐみ
5 才児



10 月は運動会に向けた取り組みが中心となりました。組体操で上に乗ることが不安な様子な子どもも、下で歯を食いしばって支える子どももお互いを信じ、「成功して嬉しい」と実感できるようになりました。鼓隊では音楽や友だちに合わせたり、向き合って演奏したりすることが「楽しい」と感じられるようになりました。最近では過ごしやすいく気候になり、戸外で体をよく動かしたり、畑で虫や草花を探したりして遊んでいます。畑に入る時の服装など約束を理解し、自分達で確認しながら遊ぶ姿に成長を感じます。遊びのルールは一方的に決めようとする姿が見られ、まだ、保育者と一緒に確認する必要がありますが、遊びを通して自分の意見ばかりを言うのではなく、少しずつ相手の気持ちも受け入れながら遊びのルールを考えていけるようになってほしいと願っています。